



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月8日

上場会社名 株式会社N・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 6077 URL <https://www.nfield.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久保 明
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長代理経営管理部長 (氏名)長瀬 達夫 (TEL)06(6343)0600
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の業績 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	2,758	12.7	83	77.4	84	81.5	12	—
2019年12月期第1四半期	2,448	10.9	47	△43.0	46	△32.3	△3	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	0.94	—
2019年12月期第1四半期	△0.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	3,427	2,119	61.8
2019年12月期	3,594	2,172	60.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 2,119百万円 2019年12月期 2,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	11.3	150	20.0	150	18.9	40	72.8	3.10
通期	11,800	12.6	600	25.5	600	24.6	250	25.0	19.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	13,210,000株	2019年12月期	13,210,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	324,528株	2019年12月期	323,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	12,885,880株	2019年12月期 1 Q	12,936,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、引き続き企業収益の改善傾向にあったものの、消費増税の影響による個人消費の低迷に加え、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、経済の停滞が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

精神科訪問看護を取り巻く環境としては、2020年4月の診療報酬改定に向けて、より質の高い在宅医療・訪問看護の確保を実現するための改定内容が示されるなど、今後ともご利用者様のニーズにきめ細やかに対応し、関係機関等との連携を強め、適切な訪問看護を提供できる体制を強化することの重要性が高まっております。

このような状況のもと、当社は①収益性の向上②医療サービスの拡充③アライアンスの強化を重点課題として事業活動に取り組んで参りました。収益性の向上については看護師1名当たりの訪問件数(稼働)は前年同四半期比4件増の89件となりました。さらに、医療サービス拡充のための多職種連携強化に向けて作業療法士の採用を強化するなどいたしました。また、アライアンスの強化に向けた検討を行っております。

新型コロナウイルス感染症に関連しては、精神科未経験の看護師が訪問による診療報酬を得るために受講が必要な算定研修の延期や、一部のご利用者様にキャンセルなどがみられました。これらに対しては、経験者中心の採用を実施し、業務で使用する感染予防マニュアルを新型コロナウイルス感染予防に対応したものに改定するなど、ご利用者様と従業員の安全確保に注意しながら訪問を実施しました。

なお、当第1四半期累計期間におきましては、新たに2事業所及び1営業所を開設したほか、より地域に密着した支店運営を行うため、従来の東京支店を東京支店及び関東支店に分割しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,758,779千円となり、前年同四半期に比べて310,255千円、12.7%の増収となりました。売上原価では人員増加や事業所及び転貸住宅の増加により労務費や地代家賃が増加するなどしました。販売費及び一般管理費についても株主数の増加による総会関連費用増加などの影響により増加しましたが、営業利益は83,479千円となり、前年同四半期に比べて36,411千円、77.4%の増益となりました。また、経常利益は84,517千円となり、同じく比較して37,943千円、81.5%の増益となりました。四半期純利益につきましては12,158千円(前年同四半期は3,817千円の四半期純損失)となりました。

事業部門別の売上の状況は次の通りです。

(居宅事業部門)

訪問看護売上は、事業所及び営業所(以下、「事業所等」という)の新規開設並びに前事業年度中に開設した事業所等の稼働向上等により2,574,716千円となり、前年同四半期に比べて278,757千円、12.1%の増収となりました。

賃貸(住宅支援)売上については、訪問看護と連携する当社の住宅支援事業に対する認知度の広がりとともに引き合いが増加するなどし、新規契約件数が増加したことから182,359千円となり、前年同四半期に比べて30,075千円、19.7%の増収となりました。また、相談支援事業(計画相談)に係る売上などを計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は3,427,442千円となり、前事業年度末から166,995千円減少しました。繰延税金資産等の投資その他の資産が増加するなどしましたが、未払法人税等の納付により現金及び預金が減少するなどしております。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は1,307,695千円となり、前事業年度末から114,723千円減少しました。短期借入金や賞与引当金などが増加しましたが、未払法人税等が減少するなどしております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,119,746千円となり、前事業年度末から52,271千円減少しました。2019年12月期に係る剰余金の配当の実施により利益剰余金が減少しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度及び第2四半期累計期間の業績見通しにつきましては、2020年2月7日に発表した金額に変更はございません。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響につきましては、緊急事態宣言が発表されましたが、当社は訪問看護という医療行為を提供しており、ご利用者様や当社従業員の安全確保に最大限注意しながら、継続して訪問を行っております。今後、行政や保健所等の訪問休止・縮小の要請・指示、当社従業員やご利用者様の感染による一時的な事業所の閉鎖、更なる感染拡大に伴うキャンセルの増加、算定研修の開催中止等により、業績見通しの変更が必要となる場合には、速やかに開示を行います。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による不測の事態等により、診療報酬の請求事務に支障が生じる場合などに備え、取引銀行3行と総額1,500,000千円のコミットメントライン契約を締結することとしております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	977,964	771,160
売掛金	1,861,001	1,864,441
貯蔵品	2,773	3,068
その他	137,565	140,395
貸倒引当金	△2,955	△2,300
流動資産合計	2,976,350	2,776,766
固定資産		
有形固定資産	110,946	109,080
無形固定資産	145,701	156,757
投資その他の資産	361,439	384,837
固定資産合計	618,087	650,675
資産合計	3,594,437	3,427,442
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	100,000
未払金	716,979	600,529
未払法人税等	256,021	111,382
賞与引当金	28,833	121,304
その他	233,563	171,727
流動負債合計	1,235,398	1,104,943
固定負債		
退職給付引当金	183,659	199,829
その他	3,360	2,922
固定負債合計	187,020	202,751
負債合計	1,422,418	1,307,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	731,950	731,950
資本剰余金	725,699	725,699
利益剰余金	1,022,602	970,330
自己株式	△308,497	△308,497
株主資本合計	2,171,754	2,119,482
新株予約権	264	264
純資産合計	2,172,018	2,119,746
負債純資産合計	3,594,437	3,427,442

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	2,448,523	2,758,779
売上原価	2,047,651	2,292,013
売上総利益	400,872	466,765
販売費及び一般管理費	353,804	383,286
営業利益	47,067	83,479
営業外収益		
受取利息	148	62
助成金収入	935	1,160
その他	204	95
営業外収益合計	1,288	1,318
営業外費用		
支払利息	24	24
自己株式取得費用	1,203	—
雑損失	—	255
和解金	550	—
その他	3	—
営業外費用合計	1,781	280
経常利益	46,574	84,517
特別損失		
固定資産除売却損	—	162
特別損失合計	—	162
税引前四半期純利益	46,574	84,355
法人税、住民税及び事業税	85,956	91,065
法人税等調整額	△35,564	△18,869
法人税等合計	50,391	72,196
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,817	12,158

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。